

防災 気象

豆知識 (9)

災害への事前準備

備えあれば憂いなし、日ごろからの準備が災害から命を守ります！

問い合わせは 防災対策課 (☎22-9191) へ

身近にできる防災対策

災害に備えて事前にやるべきことは何？

■家族防災会議

災害時の対応や連絡方法などが家の防災ルールを家族全員で話し合っておくことが重要です。具体的には、①自分たちの住んでいる地域の災害リスクを知ること②わが家の安全確認、危険箇所はないか③避難場所への経路を歩いてみる④食料等の備蓄⑤非常持出品の準備⑥家族の連絡方法、災害伝言ダイヤルの利用など、個々の家庭で十分に話し合っておくことが何よりも必要です。

■地震への備え

阪神・淡路大震災の犠牲者の8割以上は建物や家具の転倒による窒息死・圧死です。建物の耐震化とともに家具類の転倒、落下、移動の防止対策が必要で、そのままでは地震時に食器棚の食器が割れて散乱、テレビ、電子レンジ、冷蔵庫は宙を飛ばすように走り、凶器に変わります。

タンス等の家具のある部屋では寝ないようにしなすよう。無理な場合は転倒防止金具等でしっかりと固定し、部屋の配置も十分考へ、地震で倒れても出口がふさがれることがないよう十分な安全対策をしてください。

■津波

地震から身を守った後は、津波からの避難です。常日頃からハザードマップで避難場所、避難経路等の確認を十分にしておくことが必要です。

■風水害・台風・大雨

台風・風水害等は地震と違い、ある程度事前に予測ができます。気象台の情報を受けてどれだけ災害を意識して、どう対応するかが重要です。避難行動、被害軽減のための行動を起こすことです。大雨の情報が入ると、土のうまたは水のう(ビニール袋に水を入れ、それをダンボール箱に入れたもの)を前もって準備するなど個々の状況に応じた準備が必要です。危険を感じてからの避難でなく、早めの率先避難を心がけてください。

地震に対する時間割 (直後から3日目まで)

